

小規模企業景気動向調査 [2023年11月期調査]

～行楽シーズンや省エネ需要の伸びから、明るい兆しが見え始めた小規模企業景況～

<産業全体>

11月期の産業全体の景況は、全DIが小幅に改善した。全国的に異例の暑さが続いた結果、行楽シーズンが長期化し、小売業・サービス業を中心に需要が活発化した。人手不足やコスト高騰は続いている一方で、消費者のコスト高への意識の高まりから、省エネ関連の需要が増加している、とのコメントがあった。依然として、コスト高やゼロゼロ融資の返済に苦慮する事業者はいるものの、明るい兆しが見え始めている。

| DI | 10月 | 11月 | 前月比 |
|------|-------|-------|-----|
| 売上額 | 7.7 | 11.6 | 39 |
| 採算 | ▲27.5 | ▲22.8 | 4.7 |
| 資金繰り | ▲22.3 | ▲17.7 | 4.6 |
| 業況 | ▲16.1 | ▲11.9 | 4.2 |

<製造業(食料品、繊維、機械・金属)> 年末需要や生産拠点の国内回帰で受注が増加傾向の製造業

製造業は、全DIが改善し、売上額・採算DIが小幅に改善、資金繰りDIが大幅に改善した。食料品関連は、年末商戦に向け受注が増加傾向にあり、全DIが改善し、特に採算・資金繰りDIが大幅に改善した。繊維関連は、売上額・採算DIがわずかに改善、資金繰り・業況DIがわずかに悪化。生糸等の原材料費が高騰する等、コスト高が続く。機械・金属関連は、全DIが改善し、特に売上額・資金繰りDIが大幅に改善。生産拠点の国内回帰により受注件数を伸ばす事業者がある、とのコメントが見られた。

| DI | 10月 | 11月 | 前月比 |
|------|-------|-------|-----|
| 売上額 | 59 | 102 | 43 |
| 採算 | ▲32.2 | ▲29.0 | 3.2 |
| 資金繰り | ▲26.4 | ▲20.4 | 6.0 |
| 業況 | ▲17.1 | ▲15.3 | 1.8 |

<建設業> 公共事業・民間事業共に受注好調も、人手不足やインボイス対応に苦慮する建設業

建設業は、全DIが大幅に改善した。採算DIにおいては2桁ポイントに迫る改善となった。降雪前の公共事業の受注がピークを迎え始め、民間工事では電気・ガス代高騰へ対応するために、省エネ補助金を活用したリフォーム需要が増加した。一方、現在の課題として、慢性的な人手不足に加え、インボイス対応への事務作業の増加を挙げる事業者も増えている。インボイス登録の有無で、下請先との価格設定の調整等に時間が割かれるため、発注先を見直す事業者もある、とのコメントが見られた。

| DI | 10月 | 11月 | 前月比 |
|------|-------|-------|-----|
| 売上額 | 8.3 | 13.8 | 5.5 |
| 採算 | ▲33.1 | ▲23.8 | 9.3 |
| 資金繰り | ▲27.3 | ▲18.9 | 8.4 |
| 業況 | ▲20.5 | ▲13.1 | 7.4 |

<小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)> 外出機会の増加で、全DIが直近1年で最も高まった小売業

小売業は、全DIが改善し、中でも、売上額・業況DIが大幅に改善した。異例の夏日が続き、秋の行楽シーズンが長期化したことで、外出機会が増加し、直近1年で全DIが最も高い数値を示した。衣料品関連は、売上額・業況DIが大幅に改善した一方で、資金繰りDIが小幅に悪化。異例の暑さで秋物の動きは鈍かったが、急激な気温低下と共に冬物衣料の需要が増加した。食料品関連は、外出に伴う消費の増加から売上額・資金繰りDIが小幅に改善し、採算・業況DIが大幅に改善した。耐久消費財関連は、売上額・資金繰り・業況DIが大幅に改善。省エネ関連の消費財が伸びを見せている。

| DI | 10月 | 11月 | 前月比 |
|------|-------|-------|-----|
| 売上額 | ▲1.1 | 4.8 | 5.9 |
| 採算 | ▲33.2 | ▲29.3 | 3.9 |
| 資金繰り | ▲25.8 | ▲23.0 | 2.8 |
| 業況 | ▲25.4 | ▲19.1 | 6.3 |

<サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)> 好調な旅館関連が、全体を牽引するサービス業

サービス業は、資金繰り・業況DIがわずかに改善し、採算DIが小幅に改善。旅館関連は、国内外の観光需要により、売上額・採算・資金繰りDIが小幅に改善した。採算DIは全業種中、唯一プラスで推移している。クリーニング関連は、業況DIが小幅に改善した一方で、売上額DIが小幅に悪化。需要の減退期ではあるが、売上額DIはプラスを維持しており、業況は上向きである。理・美容関連は、採算DIが小幅に改善した一方で、業況DIがわずかに悪化。サービス等で他店との差別化を図る事業者が増えている。

| DI | 10月 | 11月 | 前月比 |
|------|-------|------|------|
| 売上額 | 17.5 | 17.3 | ▲0.2 |
| 採算 | ▲11.5 | ▲9.4 | 2.1 |
| 資金繰り | ▲9.8 | ▲8.5 | 1.3 |
| 業況 | ▲1.4 | ▲0.3 | 1.1 |

調査概要

・調査対象: 全国302商工会の経営指導員(有効回答数: 230/回答率76.1%)

・調査時点: 2023年11月末

・調査方法: 対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。